

第19回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

§ 日 時 平成14年10月18日(金) 13時30分から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール
さいたま市浦和仲町3-5-1 電話048-824-4801

司 会 小 林 浩 一 幹事

1. 学会長挨拶 埼玉県母性衛生学会会長 竹 田 省

2. 一般演題(13:33~16:13)

周産期管理・看護(13:33~14:13)

座 長 山 崎 ト ヨ(埼玉医科大学短期大学)

1) 妊娠中の便秘に対するオールブランの効果についての調査

大和産婦人科

池田佳子、渡辺昌子、小峰富美子、酒田景子、蛭田亜紀子、倉田あゆみ、
柏 葉子、星本和種、星本和倫、星本幸男

2) 胎児異常を告知された妊婦の看護

さいたま市立病院

落合康子、斎藤亮子、永澤規子

3) 妊娠、分娩を経験した二分脊椎の一症例

獨協医科大学越谷病院産科婦人科

濱田佳伸、大島乃理子、佐々木奈奈、根岸秀明、安藤昌守、星本和種、
星本和倫、矢追正幸、友部勝実、堀中俊孝、榎本英夫、太田順子、
林 雅敏、大藏健義

4) 聴覚障害がある長期入院妊婦の援助を通しての一考察

~切迫早産から分娩までの看護を振り返って~

埼玉医科大学附属病院産婦人科病棟

山崎由香、篠原広美、雨宮直子、村上幸子、島田雅子、桜井和美、
金子やす子

5) 当センターにおける若年妊婦の現状

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

神田千恵、本間真紀、白石道子、松本幸子、斉藤正博、馬場一憲、竹田 省

保健指導・授乳(14:13~14:45)

座 長 小田切房子(埼玉県立大学短期大学部)

6) 当産婦人科外来における妊産婦保健指導の実施調査報告

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟、産婦人科*

別所由喜子、横山弘子、手島幸代、喜多川美代子、神尾加代子、佐藤澄子、
大藏健義*

7) 帝王切開分娩時に手術台での直接授乳を試みて

~児への感情と出産の満足度を高めるための援助~

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

小高純子、飯田真理子、白石道子、松本幸子、斉藤正博、照井克生、
馬場一憲、竹田 省

8) 当院における授乳指導の検討

防衛医科大学校病院産科病棟

牧野 香、重山貴子、河野由加里、熊谷美津江、佐藤節子

9) 母親の授乳体験に関する研究

~授乳経過の比較分析を試みて~

東洋英和女学院大学大学院修士課程

松井由美子

学校教育・性教育(14:45~15:33)

座 長 中村和賀子(埼玉大学教育学部)

10) 禁煙教育の取り組み

越谷市立西中学校

金子明美

11) 最近の女子高生の性体験について

産婦人科小林医院

小林輝夫

12) 中学校における性教育の実践報告

草加市立病院、開業助産師*

武井恒代、相島初江、渡辺槇子、山崎いつ子*

13) 朝霞地区における性教育出前授業の報告

日本助産師会埼玉県支部朝霞地区

小島夕起子、桜井裕子、高野節子、大山由香里、横山啓子、小川裕美

14) V T R 視聴前後の学習効果

～分娩介助技術V T R 視聴による学習効果を検討して～

埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護学専攻

榎原洋子、細川美千恵、山崎トヨ

15) 看護教員が実施する相談事業

～相談内容を中心に～

埼玉県立大学

柳瀬真澄、渡邊竹美、今井充子、鈴木幸子、村山陵子、兼宗美幸、

坂本めぐみ、瀬戸愛子、小田切房子、渡部尚子

育児・その他(15 : 33 ~ 16 : 13)

座 長 佐 藤 節 子 (防衛医科大学校病院)

16) 人工妊娠中絶を受ける女性の心理とニーズ

社会保険大宮総合病院

山崎千鶴

17) 妊娠・出産時の心境が育児に及ぼす影響

川口市立医療センター

小野博子、河野一美、小林 薫、栃木武一

18) 長期母子分離をした児の母子間の絆

～在宅支援に向けて～

川口市立医療センター

矢島いづみ、結城さや香

19) 「人見知りがない」ことの意味について考える

～愛着行動の観察から～

こうめまクリニック、木野産婦人科医院*

鈴木仁史、嵯峨芳子、古川はるこ、相原由香、茶谷明子、木野秀郷*

- 20) 事例からみた助産師の児童虐待予防への取り組み
防衛医科大学校病院産科病棟
藤本真由子、晴山路子、菊地まゆみ、佐藤節子

3. 総 会 (1 6 : 1 3 ~ 1 6 : 2 3)

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1) 埼玉県母性衛生学会役員について | 古 谷 健 一 幹事 |
| 2) 平成 1 3 年度埼玉県母性衛生学会収支決算について | 古 谷 健 一 幹事 |
| 3) 監査報告 | 佐 藤 辰 之 監事 |
| 4) 平成 1 4 年度埼玉県母性衛生学会収支予算 (案) について | 古 谷 健 一 幹事 |
| 5) 埼玉県産婦人科医会会長挨拶 | 柏 崎 研 殿 |

4. シンポジウム (1 6 : 2 3 ~ 1 8 : 3 3) テーマ「心のケア」

座 長 栃 木 武 一 (川口市立医療センター)
座 長 鈴 木 幸 子 (埼玉県立大学)

- 1) 健やか親子 2 1 について埼玉県での取組
埼玉県健康福祉部こども家庭課
母子保健担当 渡 辺 タ エ 子
- 2) いじめに対する学校の支援体制について
川口市立東領家小学校
養護教諭 若 松 洋 子
- 3) 被虐待児への取り組みの実際とその課題
済生会川口総合病院
小児科主任部長 大 山 昇 一
- 4) 思春期から更年期までの女性のメンタルヘルスケア
埼玉医科大学精神医学教室 皆 川 恵 子

5) 女性のメンタルヘルスケア

男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

相談員 中村 敏子

5. 閉 会

小林 浩一 幹事

一般演題の講演時間は1題6分、質問2分をお願いします(時間厳守)。

スライドプロジェクターは1台用意します。一般演題のスライドは10枚以内をお願いします。

産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講10単位シール及び日本産婦人科医会研修受講シールを発行します。

学会会員は、参加費及び年会費として、合計2,000円を当日頂戴します。

学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000円を当日頂戴します。